

即時リリース

投資家向け広報窓口：

Ed Lockwood
インベスターリレーションズ部門シニアディレクター
(408) 875-9529
ed.lockwood@kla-tencor.com

報道機関向け広報窓口：

Meggan Powers
コーポレートコミュニケーション部門シニアディレクター
(408) 875-8733
meggan.powers@kla-tencor.com

KLA-Tencor が全く新しい欠陥検出およびモニタリング手法を発表

NanoPoint™ により、微小パターン上に発生し得る設計上の不良を迅速かつ高感度にモニタリングすることが可能になります

カリフォルニア州ミルピタス発(2013年4月23日)。[KLA-Tencor Corporation](#) (NASDAQ:KLAC)は、2900 シリーズ欠陥検査装置に使用される全く新しい特許取得済みテクノロジーファミリーである **NanoPoint™** を発表しました。この **NanoPoint** は、既存の光学欠陥検査装置上で光学検査のスループットそのままに欠陥を検出し、モニタリングするまったく新しい検査手法です。**NanoPoint** のアドバンテージは、初期メタル加工工程ですでに実証されています。この工程では以前、高密度パターン上に発生するラインエッジラフネス(LER)が原因で、最先端ノードで歩留まりを低下させるインライン欠陥を検出する能力が著しく制限されていました。

「当社のお客様は、20nm ノード以降の光学インライン欠陥検査を引き続き使用し続けていくことにきわめて意欲的です。お客様は、光学検査だけが実現できる速度とベースラインの維持を求めています。そこで、検査波長よりもますます微細化している欠陥を検出できる装置を設計することが当社の課題です。当社はこれまで、光源、光学系、その他のサブシステムにさまざまな改良を加えてきましたが、**NanoPoint** では新たな角度から問題の解決を図っていきます。お客様からのフィードバックに基づき、**NanoPoint** は、幅広い工程やプロセスモジュールにわたる潜在的な適合性を備えた画期的なテクノロジーであると確信しています。」と、KLA-Tencor のウェーハ検査(WIN)部門担当副社長兼本部長 **Keith Wells** は述べています。

NanoPoint は、回路の設計者または既知の欠陥サイトによって特定された、微小パターン上の光学検査装置のリソースに重点を置いています。チップ開発時は、**NanoPoint** によってマスクの再設計の必要性を数時間以内に明らかにすることができます。設計上の問題の特定と解決に要する時間が数か月から数日に短縮する可能性があります。量産時は、**NanoPoint**

で微小パターン内の欠陥を選択的に追跡できます。そのため、これまでの業界の経験をはるかに上回る感度と速度でプロセスの監視が可能になります。

いくつかの新しい特許に裏付けられた NanoPoint テクノロジーは、最高技術責任者の Ben Tsai 博士の研究部門である KT 研究所と WIN 部門の両方で KLA-Tencor が長期間にわたって研究開発に取り組んできた成果です。多数の NanoPoint システムが北米、ヨーロッパ、およびアジアの最先端のロジック、ファウンダリー、およびメモリチップメーカーに向けてすでに出荷され、使用されています。NanoPoint テクノロジーの詳細については、KLA-Tencor の [2900 Series product web page](#) を参照してください。

KLA-Tencor について：

KLA-Tencor Corporation は、プロセス制御および歩留まり管理ソリューションにおけるリーディングカンパニーであり、検査および計測装置の最先端技術を提供するパートナーとして世界中のお客様に信頼されています。これらの技術は半導体、LED、その他の関連ナノエレクトロニクス業界で利用されています。業界標準の製品ポートフォリオと世界に誇る研究者チームによって、35 年以上にわたりお客様に優れたソリューションを提供してきました。KLA-Tencor は、カリフォルニア州ミルピタスに本社を置き、世界中に販売およびサービス拠点があります。詳細については、<http://www.kla-tencor.com> (KLAC-P) をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースに記載されている過去の事例以外の事項、すなわち NanoPoint テクノロジーまたは 2900 シリーズ欠陥検査装置に期待される性能、半導体業界における動向およびこれらに関連して予測される課題、KLA-Tencor の顧客により見込まれる NanoPoint テクノロジーまたは 2900 シリーズツールの用途、NanoPoint テクノロジーまたは 2900 シリーズツールの使用により実現可能な予想されるコストおよび運用上の利点およびその他の利点は将来の見通しであり、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995 年私募証券訴訟改革法）の Safe Harbor（セーフハーバー）条項が適用されます。これらの見通しは現時点での情報と予想によるものであり、多くのリスクと不確定要素を含んでいます。新技術の採用の遅延（コストまたは性能上の問題などの原因による）、競合他社による競合製品または代替技術の発売、当社製品の導入、性能、または使用に影響を及ぼす予期せぬ技術的な問題や限界など、さまざまな要因により、実際の結果はこれらの記述で予想された内容と著しく異なる場合があります。

###